

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース											
専攻実技1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	柴徳昭			実務 経験	有	職種	作編曲・効果音制作・MA・動画制作業・レコーディング・ミックス・マスタリング・音響				
授業概要											
作曲に必要なのは既存曲を観察し分析する力と、それをふまえてそれ以上の表現をすること、またその技術力です。自分の目指す音楽をしっかりと研究し、再現するためのコツをたくさん押さえていくことが重要です。そして一回で満足せずそれを繰り返しずっと続けていくことが上達の近道です。個々のジャンルに即した分析と再現、表現、その制作過程を習得します。											
到達目標											
個人個人で自分の目標とする音楽を制作します。オリジナル作品を何回かに渡って制作し、十分な表現力と完成度、オリジナリティを目指します。											
授業方法											
個別に進捗状況を確認しながら、それぞれにあったスケジュールと制作方法を指導します。授業以外の制作時間を使って作業を行い、本授業ではその進捗報告と次のステップの相談、悩んでいる部分の解決などの指導を受けます。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
CUBASEなどのDAWソフト、またはスマホなどで動作するDAW系アプリなど。											
回数	授業計画										
第 1 回	授業概要の説明・制作する曲の方向性、ジャンル、既存曲でのリファレンスの検討 初回は自分の一番聴き込んでいる既存曲から選択。										
第 2 回	リファレンス曲の分析 複数項目の特徴の中から優先順位を決める（ジャンルによって順番は変わっていく）										
第 3 回	最優先の項目についてさらに分析を行い、その分析を元に数小節間のプロトタイプを制作する（メロディまたはドラムパターンなど）										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース	
専攻実技1	
第4回	コードやメロ以外の主要フレーズなどの別の要素をさらに追加で検討、制作
第5回	リファレンス音源から音色についての考察を行い最適な音源を検討する
第6回	生楽器への差し替えが必要なトラックはどれか、またその録音方法を検討する
第7回	各トラックをミックスという観点で検討する。リファレンス音源のミックスのコンセプトを研究分析し自身の曲で反映させる部分を探す
第8回	マスタリングという観点で出来上がった2mix音源と比較し何が違いを生んでいるのか研究。マスタリング作業でそれを解決する。
第9回	前回までの制作をもとに2曲目の制作。制作する曲の方向性、ジャンル、既存曲でのリファレンスの検討（2ターン目）
第10回	コードやメロ以外の主要フレーズなどの別の要素をさらに追加で検討、制作（2ターン目）
第11回	リファレンス音源から音色についての考察を行い最適な音源を検討する（2ターン目）
第12回	生楽器への差し替えが必要なトラックはどれか、またその録音方法を検討する（2ターン目）
第13回	各トラックをミックスという観点で検討する。リファレンス音源のミックスのコンセプトを研究分析し自身の曲で反映させる部分を探す（2ターン目）
第14回	マスタリングという観点で出来上がった2mix音源と比較し何が違いを生んでいるのか研究。マスタリング作業でそれを解決する。（2ターン目）
第15回	全2曲を制作した上でわかってきた今後の課題をまとめる。今後必要な知識・技術・方法などを明確にまとめる。